

平成24年12月21日
国土交通省中部地方整備局
中部技術事務所

名城大学の防災学習会を開催します！！

中部技術事務所では、名城大学理工学部の防災学習の一環として過去の災害対応事例の紹介や保有の災害対策用機械の操作体験についての学習会を開催します。

1 概要

名城大学では、平成24年度から自然災害リスク軽減研究センターを立ち上げ、21世紀型自然災害のリスク軽減の研究を進めています。

そのため、中部技術事務所は、名城大学理工学部建設システム工学科の防災学習の一環として、東日本大震災などの過去に発生した災害時の対応記録や、中部地方整備局の災害対策の取り組みを紹介すると共に、中部技術事務所保有の災害対策用機械を実際を使用して簡単な操作体験をして頂く、学習会を開催いたします。

2 内容等

日 時：平成24年12月25日（火） 13：30から15：45まで
座 学 13:30～14:15
災害対策用機械の操作体験 14:20～15:45

場 所：中部技術事務所 構内

使用機械：排水ポンプ車、照明車、衛星通信車、対策本部車、待機支援車
分解型バックホウ、投下型水位計

報道取材：学習会全般が取材可能です。

3 資 料：添付資料

4 配 布 先：中部地方整備局記者クラブ

5 問合せ先 国土交通省 中部地方整備局 中部技術事務所

副所長 ^{いそがわ}五十川 俊一 TEL:052-723-5701 (代表)
建設専門官 川口 一彦 FAX:052-723-5707



「エコチュウ」とはエコロジーと中部技術を合わせた愛称です。

防災学習会について

開催日時：平成24年12月25日（火） 13:30～15:45
 実施場所：中部技術事務所 構内（座学：庁舎2階会議室、操作体験：屋外訓練スペース）
 参加者数：35名程度を予定（教員2名含む）
 <学習会スケジュール>

①座学

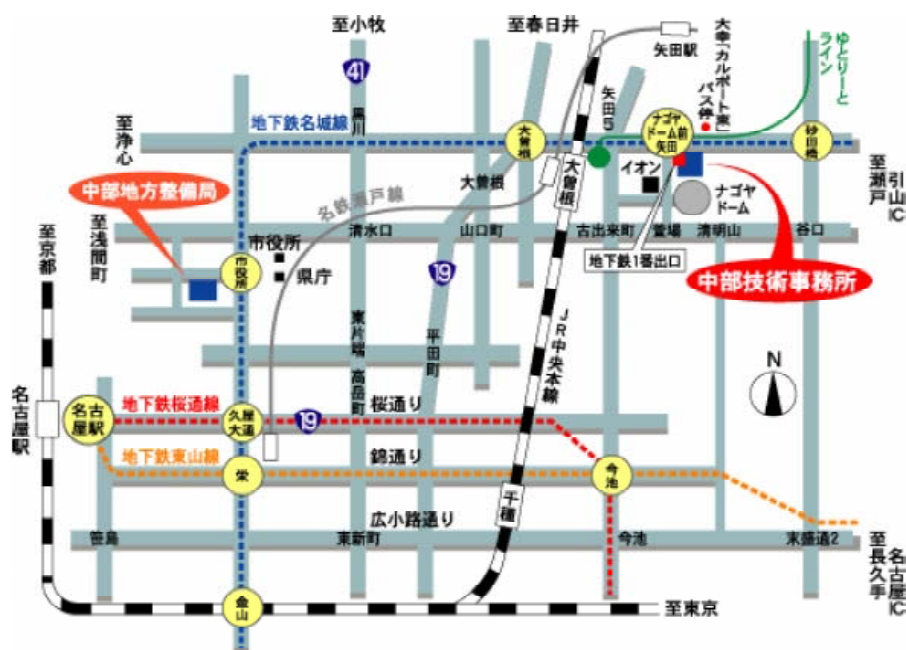
13:30～14:15

②災害対策用機械の操作体験

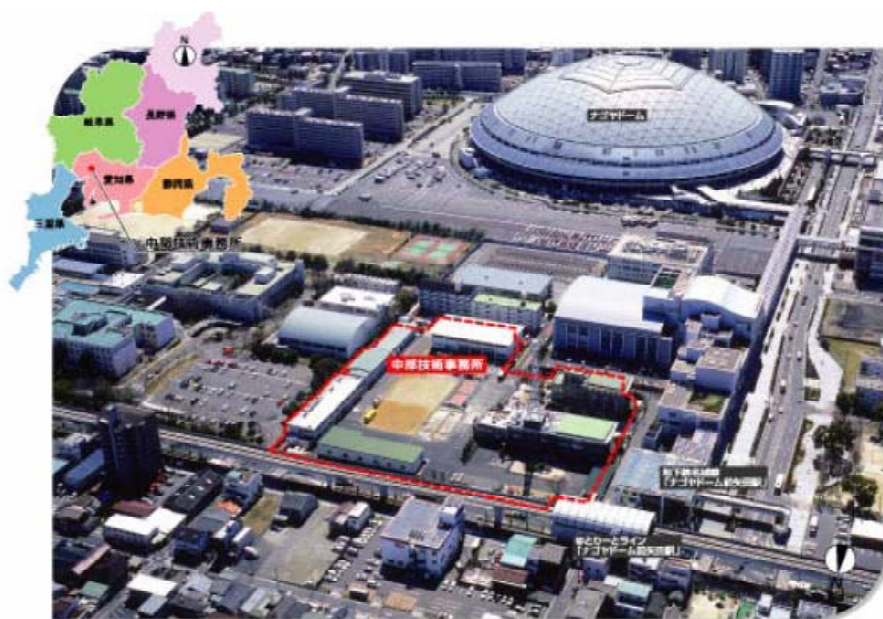
14:20～15:45

開催場所

■中部技術事務所案内図



地下鉄名城線「ナゴヤドーム前矢田駅」下車1番出口より徒歩1分
 ゆとりーとライン「ナゴヤドーム前矢田駅」下車徒歩1分



〒461-0047 名古屋市東区大幸南一丁目1番15号
 TEL:052-723-5701(代) / FAX:052-723-5707(代)

排水ポンプ車

浸水被害を排水ポンプで軽減します。(60m³/min 揚程10m使用時)

台風や大雨による浸水被害が発生したときに排水作業を行います。機動性を重視し、排水ポンプと発電機を1台の車両に搭載し、スピーディーな排水作業を行い、復旧活動を中部技術事務所は支援します。

■特徴

- 1秒間にバケツ(10リットル)100杯分に相当する水を排水することができます。(バケツ100杯分=ドラム缶(200リットル)5本分と同量)
- 通常は、10mの高さまでの水をくみ上げることができます。
- ポンプを2台直列につなげることで、20mの高さまで水をくみ上げることができます。



■主要装備品

電源設備: デーゼル発動発電機
440V 60Hz 300KVA
ポンプ設備: 水中ポンプ 重さ 30kg/台
口径200mm 12台
その他: 補助照明装置
500W×2灯

■仕様

車体寸法: 全長9.98×全幅2.49×全高3.18m
運転免許: 大型自動車免許
乗車定員: 2名
使用燃料: 軽油(タンク容量 490L)
駆動方式: 前後輪駆動
総排水量: 60m³/min(並列式 揚程10m使用時)
30m³/min(直列式 揚程20m使用時)
連続排水時間: 約8時間(給油1回分)

〒461-0047
名古屋市東区大幸南1-1-15



国土交通省 中部地方整備局
中部技術事務所

災害対策機械の窓口
052-723-5701

照明車

(2kw×6灯, 20m級)

災害現場をライトで照らし、夜間作業を支援します。

災害復旧は、夜間や悪天候のなかでも行われます。視界の悪い状態では危険が伴い、作業にも支障をきたします。そこで、十分な明かりを確保し、安全で迅速に作業ができるように、復旧活動を中部技術事務所は支援します。

■特徴

- 6階建てのビルの屋上と同じ高さから照らすことができます。
- 50m先で、新聞が読める程度の明るさがあります。
- 電源供給車としても使用できます。

■仕様

車体寸法: 全長6.62×全幅2.06×全高3.25m
運転免許: 中型自動車免許
乗車定員: 2名
使用燃料: 軽油(タンク容量 100+110L)

駆動方式: 前後輪駆動
照明灯昇降装置: 伸縮式・屈曲式併用型
ブーム高さ: 20m
連続照明時間: 約24時間(給油1回分)



■主要装備品

電源設備: デーゼル発動発電機
220V 60Hz 25KVA
照明装置: マルチライトランプ 2KW×6灯
その他: カメラ装置



〒461-0047
名古屋市東区大幸南1-1-15



国土交通省 中部地方整備局
中部技術事務所

災害対策機械の窓口
052-723-5701

照明車

(2kw×6灯, 10m級)

災害現場をライトで照らし、夜間作業を支援します。

災害復旧は、夜間や悪天候のなかでも行われます。視界の悪い状態では危険が伴い、作業にも支障をきたします。そこで、十分な明かりを確保し、安全で迅速に作業ができるように、復旧活動を中部技術事務所は支援します。

■特徴

- 3階建てのビルの屋上と同じ高さから照らすことができます。
- 50m先で、新聞が読める程度の明るさがあります。
- 電源供給車としても使用できます。

■仕様

車体寸法: 全長5.65×全幅1.93×全高2.69m
運転免許: 中型自動車免許
乗車定員: 3名
使用燃料: 軽油(タンク容量65+70L)



駆動方式: 前後輪駆動
照明灯昇降装置: 伸縮式・屈曲式併用型
ブーム高さ: 10m
連続照明時間: 約20時間(給油1回分)

■主要装備品

電源設備: デーゼル発動発電機
220V 60Hz 25KVA
照明装置: マルチライトランプ 2KW×6灯
その他: カメラ装置



〒461-0047
名古屋市東区大幸南1-1-15



国土交通省 中部地方整備局
中部技術事務所

災害対策機械の窓口
052-723-5701

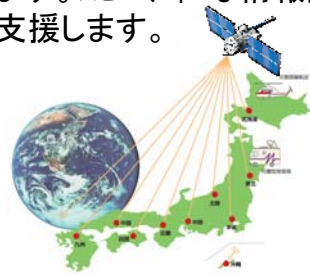
衛星通信車

災害現場の映像をリアルタイムに送信します。

被害状況の正確な把握が、早期復旧につながります。災害に強い通信衛星を利用し、映像・音声などで情報を提供します。スピーディーな情報提供を行い、復旧活動を支援します。

■特徴

- 日本国内のほぼすべての場所で通信ができます。
- ヘリコプターで撮影した映像も送信することができます。
- 鮮明な映像を提供できるほか、電話、FAX等の通信もできます。



■仕様

車体寸法: 全長6.37×全幅2.10×全高3.04m
運転免許: 中型自動車免許
乗車定員: 5名
使用燃料: 軽油(タンク容量 100L)
駆動方式: 前後輪駆動
連続使用時間: 約24時間(給油1回分)

■主要装備品

電源設備: デーゼル発動発電機
100V 60Hz 7KVA
通信設備: アンテナ装置
有効開口径: 1.2mφ
簡易画像装置
映像1ch 音声2ch
小型交換装置
衛星回線接続数 4回線



〒461-0047
名古屋市東区大幸南1-1-15



国土交通省 中部地方整備局
中部技術事務所

災害対策機械の窓口
052-723-5701

対策本部車

現地対策本部として活躍します。〔車体拡幅式〕

車体後部を拡幅し室内スペースを確保します。災害現場の情報収集や、応急対策の指揮を行う対策本部として活用し、安全で迅速に復旧作業ができるように、中部技術事務所は支援します。

■特徴

- 車体後部を拡幅することにより、畳14枚分の現地対策本部室ができます。
- 電話、ファックス、無線機など情報収集に必要な設備を装備しています。



■仕様

車体寸法：全長 8.99 × 全幅 2.49 × 全高 3.66m
 拡幅寸法：全長 10.64 × 全幅 6.29 × 全高 3.66m
 運転免許：大型自動車免許
 乗車定員：2名
 使用燃料：軽油(タンク容量 150L)
 駆動方式：前後輪駆動
 連続使用時間：約24時間(給油1回分)

■主要装備品

電源設備：ディーゼル発動発電機
 200V 60Hz 18KVA
 通信設備：400MHz帯多重無線
 400MHz帯移動無線
 150MHz帯超短波無線
 その他：燃焼式トイレ

〒461-0047
 名古屋市東区大幸南1-1-15



国土交通省 中部地方整備局
中部技術事務所

災害対策機械の窓口
 052-723-5701

待機支援車

災害現場での活動を支援します。〔汎用型〕

災害現場での現地対策本部のサポートを行うもので、会議室、仮眠スペースを確保します。復旧活動に従事する人達が、安全で迅速に復旧作業ができるように、中部技術事務所は支援します。

■特徴

- 災害時に会議室、仮眠所(最大9名)として利用できます。
- 長期活動に必要なトイレ、ミニキッチン等を装備しています。



ミニキッチン



仮眠施設

■仕様

車体寸法：全長 8.31 × 全幅 2.49 × 全高 3.43m
 運転免許：中型自動車免許
 乗車定員：2名
 使用燃料：軽油(タンク容量 100L)
 駆動方式：前後輪駆動
 連続使用時間：約24時間(給油1回分)

■主要装備品

電源設備：ディーゼル発動発電機
 100V 60Hz 6KVA
 通信設備：400MHz帯移動無線
 仮眠施設：9人分
 その他：ミニキッチン、燃焼式トイレ

〒461-0047
 名古屋市東区大幸南1-1-15



国土交通省 中部地方整備局
中部技術事務所

災害対策機械の窓口
 052-723-5701

H23 台風12号の河道閉塞で活躍した機械

分解型バックホウ (1.0m³, 遠隔操縦式)

災害現場へ空輸でき、無人化施工が可能です。

災害により道路が寸断、制限がされた現場にバックホウを分解し空輸・陸送が可能です。ラジコン操作にて安全な場所から災害復旧を行います。カメラを搭載し、リアルタイムに作業状況を映像提供します。

■特徴

- 13ブロックに分解ができ、空輸ができます。
- 分解・組立にかかる時間は、分解未対応型より4.5日短縮できます。
- 車載カメラで撮影した映像を見ながら、遠隔操縦ができます。

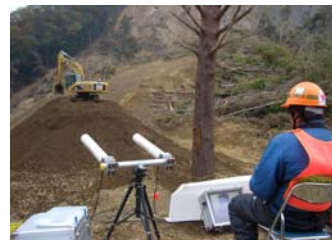


■仕様

車体寸法：全長 10.12 × 全幅 2.99 × 全高 3.17m
 運転免許：車両系建設機械 運転技能講習 (整地・運搬・積み込み用及び掘削用)
 操縦方法：遠隔操縦および搭乗操縦
 標準バケット容量：1.0m³
 登坂能力(度)：70(35)
 使用燃料：軽油(タンク容量 520L)

■主要装備品

遠隔操作装置：特定小電力無線
 実用距離 150m
 カメラ装置：特定小電力無線 カラーCCD
 実用距離 150m



遠隔作業状況(H23台風12号奈良県にて)



空輸状況(H23台風12号奈良県にて)

〒461-0047
 名古屋市東区大幸南1-1-15



国土交通省 中部地方整備局
中部技術事務所

災害対策機械の窓口
 052-723-5701

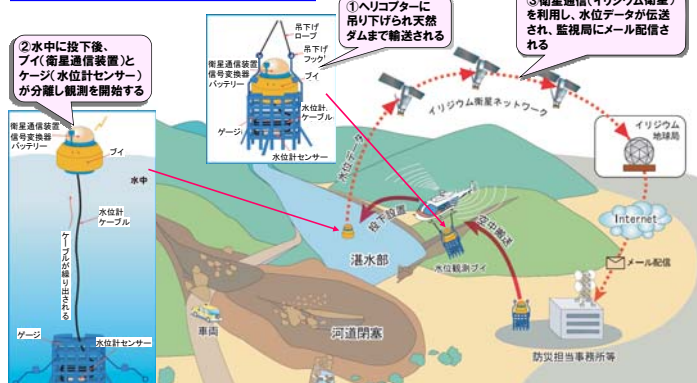
H23 台風12号の河道閉塞で活躍した機器

投下型水位計

河道閉塞した湛水箇所で定期的に水位を観測します。

ヘリコプターから投下し、土砂ダムの湛水位を連続観測し、監視ができます。

■特徴



■仕様

水位計測：圧力式水位計、計測範囲0~40m
 位置計測：GPS受信機
 通信回線：イリジウム衛星通信
 観測間隔：通信・計測とも5~1440分で任意設定
 重量寸法：67kg、W500 × D500 × H1200
 稼働時間：1.5ヶ月(10分毎送信)

〒461-0047
 名古屋市東区大幸南1-1-15



国土交通省 中部地方整備局
中部技術事務所

災害対策機械の窓口
 052-723-5701